



2024-25 年度
国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

Weekly Report Niigata



2024~25 年度
新潟ロータリークラブ会長

吉田 和弘

新潟 RC 9 月第 4 例会 (2024.9.24) No.3524

- (1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱
- (2) 吉田 和弘会長挨拶

9 月は月間テーマにちなんで、私の学校の生徒の様子なども交えてお話をしてきました。そこで今週は、日本のロータリークラブが独自に設定しているもう一つの 9 月のテーマ、毎月皆さんに配られている「ロータリーの友」についてお話をしてみようと思います。

今月の第 2 例会で配布されたロータリーの友については、梅澤さんにダイジェストを発表いただきました。この発表の役割は広報・会報・雑誌委員会の皆さんにお願いしています。ちなみに雑誌の購読は、ロータリークラブ定款第 15 条によって義務化されています。

今からおおよそ 72 年前、1952-53 年(昭和 27 年-28 年)度に、それまで一つの地区だった日本のロータリークラブが 2 つの地区に分割されることになり、2 地区になっても連絡を緊密にし続けるために共通の機関誌を作ろうという意図から、ロータリーの友は創刊されたそうです。

ロータリーの友の元になっているのは、アメリカの国際ロータリー(RI)世界本部で編集・発行している RI の機関雑誌『Rotary』です。RI に認可されると、その地域の雑誌が機関雑誌として認定されます。これらの雑誌は全世界に 30 誌以上ありますが、その認定条件として、「RI が指定した記事を掲載すること」

「国際ロータリーの方針を伝えること」「年に 6 回以上発刊すること」「50%以上がロータリーに関する記事であること」などがあるそうです。毎年 7 月は RI 会長の写真を表紙にすること、といった条件もあるそうです。

さて、「ロータリーの友」発刊のための準備委員会で「創刊は 1953 年 1 月号とする」「編集委員は合議制とする」「定価 50 円とするが、広告を募集、掲載し 100 円の内容のある雑誌とする」「横書きとする」といったことが決められたとのことなのですが、現在は縦組みのページもあります。これは俳壇、歌壇など横組みでは掲載が難しい欄が出てきたために、1972 年に縦横が並立

する構成になったとのこと。これとて 50 年以上前の話ですから、歴史を感じます。

横組みのページには、RI の指定記事、ロータリーの特別月間の関連記事、特集、地区やクラブの活動などが、縦組みのページにはロータリアン個人としての意見や経験談、エッセイ、俳句や短歌・川柳の投稿、講演録などを掲載されています。本クラブでは何ととっても小林悟さんが川柳の投稿エースとしてご活躍されています。

ロータリーの友ではさまざまな記事の投稿を受け付けています。私も一度依頼を受けて原稿を作成したことがあります。料理研究会をご紹介するものでした。

せっかくですので、今年度のいずれかの行事を、「ロータリー・アット・ワーク」に投稿できればと思います。いきなりお願いして申し訳ないのですが、佐藤紳一委員長をはじめとした広報・会報・雑誌委員会の皆さんに、ぜひとも対応をお願いできればと思います。

◎今週のお店紹介 寿司川柳

新潟市中央区東大通 2 丁目

◎今週のミニスピーチ

小山 楯夫(株)小甚 代表取締役

9 月 24 日クラブ週例会出席のため例会場に向かう途中、吉田会長にお会いした。兼ねてから話そうと思っていたことがあった。

それは、例会開始時刻を知らせるゴングのことである。私は 1996~97 年度会長就任前の横山芳郎氏に、新潟クラブが創立する際、スポンサークラブである東京クラブから寄贈されたゴングが、イタリア軒のどこかに保管されている筈だ、と話した。横山氏は、「私の会長年度はそのゴングを毎週鳴らす」と喜んだ。

早速、イタリア軒の支配人に話をし探して貰ったら発見できた。埃を払って、どんな音が出るだろうかと期待を込めて、付属の木槌で叩いてみた。コッと何かが

当たった様な音がした。「何んだこれは?!」。
よく見たらヒビが入っている。これでは使い物には
ならないと、再びお蔵入りになった。
あれから 28 年。今年度はクラブ創立 85 周年を迎える。
そこで吉田会長に、修理して創立 85 周年式典で使って
みる気はないか? スポンサークラブ、姉妹クラブ、
友好クラブなどには招待状を送るはずだ。関係者が
出席していたら喜ぶだろうと、訊いてみた。吉田会長
は大変乗り気のようにだった。修理して使いたい、との
事であった。若し、修理が上手くいかないと三度目
のお蔵入りとなる。

米山奨学会寄付発表(榎本 豊か委員)

坂井 賢一君

青少年育成基金寄付発表(五月女政義委員長)

本間 彊君

(3) ゲスト ゲストの紹介・挨拶

フランス・ナント市からの留学生
アジリス・ル・フロック=ベラミさん

(ご紹介 本間 彊君)

(4) 織戸潔地区米山記念奨学委員会学友委員長

10月は米山月間です。来週10月1日(火)は、
米山記念奨学委員会委員長の渡邊嘉子さん(新津中央
RC)をお迎えしての卓話を予定しております。
米山事業に関する大変貴重な体験談など、お話し頂
くことになっており、沢山の方々のご出席をお願い致します。
これに先立ち、先週9月19日(木)米山奨学委員会
によるファイアーサイドミーティングを開催いたしま
した。国際奉仕委員会の高橋秀樹大委員長、徳永昭輝
委員長をはじめ、米山奨学委員会の坂井賢一委員長他
委員の皆様多数が参加されました。また、9月末にて
終了した、奨学生余子慶君とカウンセラーの石橋正利
さんもお誘いし、送別会を兼ねる会となりました。
ミーティングでは、来月の米山月間を迎えるにあたり、
米山記念奨学事業への理解と寄付金向上の為の
モチベーションアップの取組について協議いたしました。
米山月間を迎えるにあたり、更なる寄付金にご理解・
ご協力を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

(5) 佐藤 邦栄ゴルフ同好会副会長報告

明日、地区ゴルフ大会に7名で参加して参ります。
団体戦もありますので健闘したいと思います。

10月27日に今年最後のコンペを開催しますので1
0月22日までにお申し込み願います。

(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員長)

五月女政義君 本多 晃君

(7) ニコニコボックス紹介(佐藤 明副委員長)

・本多 晃君 高橋昌教授の講演が楽しみです。

(8) 幹事報告(小林 慶直幹事)

・10月19日、20日 長岡市に於いて開催されます
地区大会に50%以上の登録要請を頂きました。
未登録の方は10月1日までにクラブ事務局へお申し
込みをお願い致します。

(9) 卓話「新潟から発信する災害医療

—新興感染症から命をまもる取り組み」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

災害医学・医療人育成分野 高橋 昌 特任教授



(10) 9月24日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
81	79	48	60.76%

10月1日の例会予定

卓話「米山月間に因むお話」

渡辺嘉子地区米山奨学委員長

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>